



# 宇都宮大学 (栃木県)



世界遺産の日光、最先端のテクノポリス、豊かな自然が身近にある環境での研修です

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

宇都宮大学は栃木県の中央に位置する宇都宮市にある大学で、5つの学部をはじめ、従来の4つの研究科がひとつになった大学院および教職大学院からなる総合大学である。大きな大学ではないので、種々の面で学生に対してきめ細やかに対応しており、学部や研究科間で連携した教育・研究活動も行いやすい。

#### ●教員数と学生数 (2018年5月1日現在)

教員数 : 342 名  
学生数 : 4,938 名  
(学部生 4,071名, 大学院生名 867名)

#### ●学部と研究科

##### <地域デザイン科学部>

2016年4月に新たに発足した。地域の魅力を引き出して、より良い地域を形成するために必要な、幅広い知識と専門技術を総合的に学ぶ。

##### <国際学部>

国際的な視野から社会と文化の総合的な教育研究を行い、世界で活躍できる人材の育成を行っている。海外からの留学生、海外に留学する学生がともに多い。

##### <教育学部>

教員養成に長い歴史を持ち、学校教育をはじめ、多方面で活躍できる人材を養成している。

##### <工学部>

自然環境及び人工環境と人類の共生をめざした先端的研究を行っている。

##### <農学部>

宇都宮高等農林専門学校からの長い伝統を持つ一方、バイオテクノロジーや国際協力などの先端的研究分野で大きな成果をあげている。

##### <地域創生科学研究科>

従来の国際学研究科、教育学研究科、工学研究科そして農学研究科が再編されて、2019年4月に発足。持続可能で豊かな地域社会の創生を理念に、社会デザイン科学専攻と工農総合科学専攻の2専攻を配置している。

##### <教職大学院>

現職教員を主な対象に、専門性のより高い教育養成を目的とした専門職大学院である。

## ② 国際交流の実績

留学生の数: 249名 (24 各国)  
研究者の数: 2名 (2 各国)  
大学間等交流協定校の数: 73大学

## ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2018-19年: 留学生数184人、日研生4人  
2017-18年: 留学生数130人、日研生6人  
2016-17年: 留学生数135人、日研生3人

## ④ 地域の特徴

本学のある宇都宮市は東京の北100km (新幹線で約50分) に位置している。宇都宮市は人口約52万人で、東には鬼怒川(キヌガワ)、北には那須山



地、西には世界遺産の観光地・日光など、美しい環境に恵まれている。日本最古の大学、足利(アシカガ)学校に代表される学問的伝統や日本で一二を競うイチゴなど農産物の開発やテクノポリスを構成する工業技術などアカデミズム・先端的科学技術の発信地となっている。

## ■コースの概要

### ① 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行う。

### ② コースの特色

本コースは、宇都宮大学留学生・国際交流センターが全学の協力を得て行う研修プログラムで、以下の二つの研修を行う。

・日本の文化や社会についての研究

研究テーマを設定し、そのテーマに相応しい指導教員の下に研究を行い、その成果を研修論文としてまとめ、発表し、提出する。

・日本語能力の向上

研究と並行して、日本語の授業や日本語で行われる大学の授業を受講し、自らの日本語能力の向上を図る。

### ③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

以下の(1)と(2)をともに満たすことが条件である。

##### (1) 専攻分野

母国の大学において日本語・日本文化に関する分野を専攻としていること。

##### (2) 日本語能力

中上級レベル(日本語能力試験N2合格程度)以上の日本語能力を持っていること。

#### ⑤ 達成目標

本研修留学生は、翌年8月のプログラム修了時点で、日本語能力検定試験のN1レベル相当の日本語能力を習得し、学部の卒業論文に相当する研修論文を執筆することを目標とする。

#### ⑥ 研修期間

2019年10月 ～ 2020年8月(11ヵ月間)

<授業期間>

10月～2月(後期)

4月～8月(前期) ※修了式は8月中旬を予定。

なお、研修終了日より以前に早期帰国を希望する場合には、事情を判断し、所定の手続を踏むことを条件にこれを認める場合がある。

#### ⑦ 研修科目の概要・特色

- ・ 開講部局は留学生・国際交流センター、基盤教育(全学共通の基礎科目)、各学部である。
- ・ 授業時間は90分、全科目15回30時間である。
- ・ 必修科目を4科目、選択科目を12科目履修する。

##### 1) 必須科目

(留学生・国際交流センター開講科目、各2単位)

「日本語・日本文化Ⅰ」  
「日本語・日本文化Ⅱ」  
「日研生特別研究Ⅰ」  
「日研生特別研究Ⅱ」

##### 2) 見学・地域交流等の参加型科目

栃木県内の名所・旧跡などを見学する学外研修や、留学生を対象とした地域交流団体との交流行事等を予定する。(⑧を参照)



##### 3) 修了研究の内容

本研修留学生は、日本の文化や社会、あるいは日本語に関わるテーマについて、1年間にわたる調査・研究を行い、その成果を日本語でまとめた研修論文(12,000字以上)を執筆する。また「日研生研修論文発表会」でその概要について口頭発表(約10分)を行う。

とくに、必修科目の「日研生特別研究Ⅰ」では、各自の修了研究の準備を進めるとともに、学外研修などを通じて、日本社会や日本文化に触れる機会を設ける。また、「日研生特別研究Ⅱ」では、定期的に調査研究の進捗状況を報告し合い、その内容について互いに検討し、研修論文の完成を目指す。

##### 4) 日本人学生との共修の機会

必須科目以外の選択科目は、日本人学生などが履修する正規科目なので、これらの科目を履修することで日本人学生と共修する機会を得ることができる。

##### 5) その他の講義、選択科目等

(留学生・国際交流センター・基盤教育・各学部の開講科目)

・ 選択科目は12科目の履修が必要である。ここに挙げてあるのは履修を推薦する科目の例であるが、日本語能力と各自の研究テーマに応じて他の授業科目を選択できる。どの科目を履修するかについては、各学期の初めに、担当教員や指導教員と相談して決定する。

・ 本学の授業科目の2018年度の時間割とシラバスは、本学ウェブサイト(後述)で確認することができる。

○ 選択科目Ⅰ：上級レベル日本語科目の例(各1単位)

「日本語アカデミック・リーディングⅡ」  
「日本語アカデミック・プレゼンテーション」  
「科学技術系のための専門日本語」  
「人文社会系のための専門日本語」

○ 選択科目Ⅱ：日本文化関連科目の例(各2単位)

「日本事情」「日本語の表記」「日本語論」  
「日本語史」「対照言語学」「日本文化論」  
「多言語コミュニケーション学A」  
「多言語コミュニケーション学B」  
「異文化間コミュニケーション」  
「日本文学史」「日本文学概説A」  
「Japanese Communication Arts」  
「Globalization and Society」  
「グローバル教育論」  
「移民と多文化教育」

・ なお、これらの選択科目は、年度によって開講科目が変更になる場合がある。

## ⑧ 年間行事・年間スケジュール

9月下旬：渡日

10月： オリエンテーション  
10月来日留学生歓迎パーティー  
ホームステイ

11月： 学外研修

12月： 地域との交流会

4月： 春季留学生歓迎パーティー

7月： 七夕の集い（地域留学生対象）

8月上旬：修了式（研修論文発表会）

8月下旬：帰国

## ⑨ 指導体制

本コース研修留学生は本学留学生・国際交流センターに所属し、プログラム担当教員と研修論文の指導教員の連携による指導を受ける。

○プログラム担当教員：

本コースのコーディネーターとして全学的な協力の下に研修留学生が充実した研修を行えるよう指導教員等と連携をとりながら指導・助言を行う。

・湯本 浩之（留学生・国際交流センター）  
専門：国際教育論・国際開発論・市民組織論

・飯塚 明子（留学生・国際交流センター）  
専門：国際協力・コミュニティ防災

○指導教員：

研修留学生の研修テーマに応じて専門分野の研究指導を行う。指導教員は、来学後に研究テーマに基づいて全学の教員の中から決定される。

## ⑩ コースの修了要件

以下の（1）～（3）を全て満たすことを修了要件としコース修了者には修了証書を与える。

（1）必須科目4科目を履修する

（2）選択科目12科目（本プログラムに関連した内容の科目）を履修する

（3）研修論文を作成するとともに、研修論文の内容を「日研究生研修論文発表会」で発表する

## ■ 宿 舎

本学には、外国人留学生用の宿舎として国際交流センターがあるが、全員が入居できない状況である。そのため、国費留学生は民間アパートに入居することもある。

〈参考〉

○民間アパートに入居する場合、入居当初にかかる諸費用

- ・居室料（単身用・月額） 30,000円前後
- ・敷金（居室料の1ヶ月分）
- ・礼金（居室料の1ヶ月分）
- ・手数料（居室料の1ヶ月分）
- ・ガス開栓等の手数料 15,000円前後
- ・保険料 4,500円～9,000円 前後

合計 10万円 ～15万円前後

○設備等

- ・エアコンが設置されたアパートは比較的多い。
- ・その他は来日後、各自で購入等の必要がある。

## ■ 修了生へのフォローアップ

研修修了後も、希望者には進路や研究内容等について、メールなどにより、随時相談・助言等を行っている。

○過去の修了生の進路の例：

- ・本学大学院進学
- ・本学以外の日本の大学院進学
- ・母国での通訳
- ・母国での大学教員
- ・日系企業への就職



## ■ 問合せ先

〈担当部署〉

宇都宮大学学務部留学生・国際交流課  
住所 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
TEL +81-28-649-8166（直通）  
FAX +81-28-649-5115

E-mail  
ryuugak1@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学WEBサイト  
<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/>

宇都宮大学留学生・国際交流センターWEBサイト  
<http://intl.utsunomiya-u.ac.jp/>